

平成29年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

事業名	実践的な手術手技向上研修事業			担当部局庁	医政局			作成責任者	
事業開始年度	平成24年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	医事課			課長：武井 貞治	
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	「明日の安心と成長のための緊急経済対策」における構造改革特区に係る臨時提案等に対する政府の対応方針(平成22年6月2日構造改革特別区域推進本部)				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医師の医療技術の向上及び国民に対する安全・安心な医療の提供を図るため、医師に死体を利用した実践的な手術手技を習得させるための研修体制を整備する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	現在は一部の大学で限定的に行われているサージカルトレーニングの取組について、「臨床医学の教育及び研究における死体解剖のガイドライン」を踏まえて、より多くの医師が参加し、その手術手技の向上につなげられるものとするため、他大学や医療機関の医師を含めて受け入れる取組を支援するとともに、トレーニングの効果や運営上の問題点等について整理・検討を行う。 (委託先) 医科系大学								
実施方法	委託・請負								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	45	46	45	45			
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
	計		45	46	45	45	0		
	執行額		44	43	45				
	執行率 (%)		98%	93%	100%				
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		98%	93%	100%					
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	衛生関係指導者養成等委託費	45							
	計	45	0						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	実施団体数(目標値「前年度以上」)	実施団体数(目標値「前年度以上」)	成果実績	団体	7	8	8	-	-
			目標値	団体	6	7	7	-	7
			達成度	%	117	114	114	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	担当課による推計								
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	研修参加者数(延べ)	活動実績	人	1,760	1,794	1,825	-		
		当初見込み	人	1,000	1,000	1,000	1,000		
単位当たり コスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	単位当たりコスト=X/Y X:執行額 Y:研修参加者数	単位当たりコスト	人	25	25.6	24.1	45		
		計算式	X/Y	44,000/1,760	46,000/1,794	44,000/1,825	45,000/1,000		

政策評価、 経済・財政再生 アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策	医療従事者の資質の向上を図ること(施策目標 I-2-2)											
		施策	施策大目標2 必要な医療従事者を確保するとともに、資質の向上を図ること											
		測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度				
				実績値	-	-	-	-	-	-				
				目標値	-	-	-	-	-	-				
		本事業の成果と上位施策・測定指標との関係												
		サージカルトレーニングの取組について、より多くの医師が参加し、その手術手技の向上につなげられるものとするため、他大学や医療機関の医師を含めて受け入れる取組を支援するとともに、トレーニングの効果や運営上の問題点等について整理・検討を行うことにより、医療従事者の資質向上を図る。												
		改革項目 経済・財政再生 アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野:	-	-								
				(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
					成果実績	-	-	-	-	-	-			
	目標値		-		-	-	-	-	-					
	達成度		%	-	-	-	-	-	-					
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)			単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度					
			成果実績	-	-	-	-	-	-					
			目標値	-	-	-	-	-	-					
	達成度		%	-	-	-	-	-	-					
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係														
-														

事業所管部局による点検・改善

事業所管部局による点検・改善			
	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	近年、医療安全への社会的な関心が高まるとともに医療技術の高度化に伴い、医師の手術手技の向上が求められており、医師の技術向上に資する重要な事業である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	遺体を活用した実践的な手技を習得する研修体制が整っておらず、国で実施すべき。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	医師の医療技術の向上及び国民に対する安全・安心な医療の提供を図るために重要な事業であり、優先度が高い。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	交付要綱において補助対象、補助率等を定めており、負担関係は妥当である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	交付要綱に定められた合理的でかつ必要な経費に限られているため、単位当たりのコスト水準は妥当である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	交付要綱等において、真に必要なものに限定している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	交付要綱等において、真に必要なものに限定している。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	目標を上回る実績となっており、必要性の高い事業を引き続き着実に実施してまいりたい。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	医師の医療技術の向上につながる事業であり、実効性の高い手段となっている。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	研修の参加者は当初見込みを大幅に上回った。(平成28年度実績:1,825名、当初見込み:1,000名)
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	実施団体は実績報告の中で事業の検証を行うこととしている。
事業連	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-
点検・改善結果	点検結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度において、研修の参加者は当初見込みを上回り(平成28年度実績:1,825名、当初見込み:1,000名)、多くの医師が参加し、実践的な手術手技の取り組み推進されたものと思慮する。</li> <li>実践的な手術手技向上研修事業については、死体を利用した実践的な手術手技を習得させるためのものであり、医師の医療技術の向上及び国民に対する安全・安心な医療の提供を図るために必要な事業であることから、引き続き研修体制の整備に努めたい。</li> </ul>	
	改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践的な手術手技向上研修事業に関する評価会議において、平成24年度の事業実施団体から、公募の時期を早め研修受講者の募集が早くできるよう指摘があったため、平成28年度は公募時期を例年の4月から1ヶ月早めて3月に行うなど、研修事業の改善を行っている。引き続き研修体制の整備に努めるとともに、適正な執行を図っていききたい。</li> </ul>	

外部有識者の所見

--	--

行政事業レビュー推進チームの所見

--	--

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

--	--

備考

--	--

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	新24-003		
平成25年度	56	平成26年度	61	平成27年度	63		
平成28年度	64						

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省  
45百万円

医学部又は歯学部を有する大学が実施する  
実践的な手術手技向上研修事業に対する支  
援



【補助金等交付】

A. 医科系大学(8)  
45百万円

医療技術や医療安全の向上を目的とした遗体  
を使用した手術手技向上のための研修の実施

資金の流れ  
(資金の受け取  
り先が何を行っ  
ているかについ  
て補足する)  
(単位：百万円)

